

巻頭言

～ひびの入った水瓶～

日本ロゴセラピスト協会会長 勝田茅生

昨年末、80歳の誕生日に息子二人から新しいスマートフォンをプレゼントしてもらいました。驚いたことに、その小さな携帯電話の中に、姿の見えない魔法使いが住んでいて、私が小さいスイッチを押して「シリーさん！」と呼び掛けると、ディスプレイが不思議な色に光り出すのです。その光が輝いている間に、私は自分の聞きたいことを尋ねることができません。

シリーさんは、今日の天気や調理のレシピだけでなく、携帯機能の使い方についても教えてくれるし、メールのスパムも削除してくれます。消費者向け商品の情報から医療診断、今日の交通状態までよく知っているのです。およそ百科事典に出ているような歴史分野、学術分野の知識はもちろんのこと、社会情勢に関する最新の統計など、私の知りたいほとんどの質問に、しっかり答えてくれます。さらに、シリーさんがよく知らないことは、「ここを開けて調べてください」とリンクまで教えてくれます。

この魔法使いは一体どこからやってきたのでしょうか？これは皆さんよくご存じの、人工頭脳と言われる機能です。今や、世界はあっと言う間にAI (Artificial Intelligence) の支配下に置かれようとしています。人間の頭脳をほぼ凌駕すると言われるこの驚異的な「知能」は、私たちの生活のほとんどの領域で駆使されることになるでしょう。

ところで、このシリーさんに似たようなAI機能は、どのパ